

<b>授業科目</b> 成人看護援助論Ⅲ (1) 消化器	<b>区分・教育内容</b>		
	専門分野Ⅱ 成人看護学		
<b>授業担当者</b> 堀 裕美 (専任教員)	<b>開講時期</b>	<b>単位</b>	<b>時間数</b>
	中期	1 単位	14 時間 / 30 時間
<b>授業の目的</b> 消化・吸収機能障害をもつ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。			
<b>授業の目標</b> 1. 消化・吸収機能障害の症状の成因と患者に及ぼす影響がわかる。 2. 消化・吸収機能障害のある患者への適切な看護がわかる。			
<b>授業概要</b> 消化器は、食物の摂取・消化・吸収・代謝・排泄に関わる器官である。機能低下によって起こる症状、原因となる疾患とその治療の目的を理解し、疾病によって生じる患者の身体的、心理・社会的影響を考え、生活環境の変化を捉えながらその人らしい生活ができるよう適切な看護の方法について学習する。			
<b>授業計画 (進め方)</b> 1 回目 腹部のアセスメントと観察① 2 回目 腹部のアセスメントと観察② 3 回目 症状に対する看護、検査時の看護 4 回目 肝障害のある患者の看護 5 回目 胃の手術を受ける患者の看護 6 回目 大腸の手術・ストーマ造設術を受ける患者の看護 7 回目 胆石・膵炎の看護、膵臓の手術を受ける患者の看護			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 医学書院			
<b>指定図書・参考書</b> 病気がみえる vol.1 消化器 第5版 メディックメディア			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 成人看護援助論Ⅲ100 点満点中の 45 点			

<b>授業科目</b> 成人看護援助論Ⅲ (2) 内分泌・代謝	<b>区分・教育内容</b>		
<b>授業担当者</b> 安齋 之子 (中通総合病院)	<b>開講時期</b> 中期	<b>単位</b> 1 単位	<b>時間数</b> 8 時間 / 30 時間
<b>授業の目的</b> 内分泌・代謝機能障害をもつ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。  <b>授業の目標</b> 1. 内分泌・代謝機能障害の症状の成因と、患者に及ぼす影響がわかる。 2. 内分泌・代謝機能障害のある患者への適切な看護がわかる。			
<b>授業概要</b> 内分泌・代謝機能障害をもつ患者は、急性期における的確な医療が必要であるとともに、慢性疾患であり、長期にわたる管理が必要となる。このような患者に対するアセスメントの視点や適切な看護の方法について学習する。  <b>授業計画 (進め方)</b> 1 回目 内分泌・代謝疾患を持つ患者の特徴と看護援助の視点、疾患の経過に伴う看護について 甲状腺機能亢進症・甲状腺切除術を受ける患者の看護 2 回目 糖尿病患者の看護① (疾患の特徴とアセスメント) 3 回目 糖尿病患者の看護② (教育的支援の具体的方法について…食事療法・運動療法・薬物療法) 4 回目 糖尿病患者の看護③ (教育的支援の具体的方法について…合併症予防・インスリン自己注射・血糖自己測定)			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門Ⅱ 内分泌・代謝 医学書院 日本糖尿病学会編 糖尿病治療の手引き 南江堂 日本糖尿病学会編 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂			
<b>参考書・指定図書</b>			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 成人看護援助論Ⅲ100 点満点中の 30 点			

<b>授業科目</b> 成人看護援助論Ⅲ (3) 造血・免疫	<b>区分・教育内容</b>		
	専門分野Ⅱ 成人看護学		
<b>授業担当者</b> 堀 裕美 (専任教員)	<b>開講時期</b>	<b>単位</b>	<b>時間数</b>
	後期	1 単位	8 時間 / 30 時間
<b>授業の目的</b> 造血・免疫機能障害をもつ対象を理解し、症状・治療に応じた看護ができる能力を養う。			
<b>授業の目標</b> 1. 造血・免疫機能障害の症状の成因と患者に及ぼす影響がわかる。 2. 造血・免疫機能障害のある患者への適切な看護がわかる。			
<b>授業概要</b> 造血・免疫機能障害をもつ患者は、治療法が進歩したとはいえ、多くは予後不良で急性増悪・寛解を繰り返し、入退院やボディイメージの変化、役割の修正に直面する。このような患者に対するアセスメントの視点や適切な看護の方法について学習する。			
<b>授業計画(進め方)</b> 1 回目 造血機能障害をもつ患者の特徴と看護の役割 貧血・輸血時の看護 2 回目 白血病患者の看護 3 回目 造血幹細胞移植の看護 HIV 感染症患者の看護 4 回目 膠原病患者の看護 アレルギー疾患患者の看護			
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門Ⅱ 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門Ⅱ アレルギー・膠原病・感染症 医学書院			
<b>参考書・指定図書</b>			
<b>評価の方法</b> 筆記試験 成人看護援助論Ⅲ100 点満点中の 25 点			